

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会		主 査 名：片岡俊一 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>目的：各機関による観測体制の相互協力や観測データの効果的且つ迅速な共同利用を推進する。地盤および建物で観測される地震記録の分析に基づく現象の解明を通して、建築物の地震災害低減に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強震観測体制・強震データの現状把握と台帳化 ・ 今後の強震観測小委員会のあり方を検討する ・ 地震動記録の分析による地盤震動，建物応答の解明 		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>片岡俊一(弘前大学)，山村一繁(首都大学)，吉村智昭(大成建設)，青井真(防災科研)，池浦友則(鹿島建設)，鏡味洋史(北海道大学)，鹿嶋俊英(建築研究所)，北川良和(慶応義塾大学)，工藤一嘉(東京大学)，中村充(大林組)，福和伸夫(名古屋大学)，上林宏敏(広島国際大)，元木健太郎(東京工業大学)，源栄正人(東北大学)，吉田治雄(竹中工務店)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>次世代システム検討WG：建築会館における強震観測結果の評価および自らの強震観測結果の評価に基づき，次世代の強震観測システムおよびデータベース化，データの公開についての検討を行う</p> <p>共同観測評価推進WG：建築会館における 20 年間にわたる強震観測の経緯を整理し，強震計の比較結果と合わせて報告書を作成する。一方で，静岡における共同観測の総括を行い報告書を作成する</p>		
2006 年度予算	265,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：http://www.eqgmo.aij.arch.metro-u.ac.jp/eqgmo/</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	<p>1. PD：建築物の地震時挙動を知るために 建築物における強震観測の意義 参加者数 285 名</p> <p>『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』</p>
対外的意見表明・パブリックコメント等	2005 年度 強震観測小委員会活動報告を HP に公開した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 建物応答の解明の一環として，建築会館における常時微動を大会で発表した。</p> <p>2. 建築会館における強震観測の経緯と観測記録およびを静岡市における共同強震観測について整理した報告書を HP で公開した。</p> <p>3. 建築会館における強震観測データを HP で公開した。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 運営委員会任期と主査任期のずれを考慮した，将来計画の立案